

亜リン酸BS液肥 ホスカルMk2の特長と使い方について



「ホスカルMk2」はカルシウムに拮抗のマグネシウム・ホウ素・亜鉛を最適配合することで、夏場に問題となる石灰/ホウ素複合欠に単剤で対応できるよう「ホスカル」を再設計した高機能液肥です。更に高温での環境ストレス耐性を高め、各種ミネラルの吸収・肥効を高める「酢酸」「トレハロース」などバイオスティミュラント（BS）成分を最適配合し、BS資材としての機能性も向上しています。

●容量：1kg/10kg ●成分 N1 P15 B0.5 / Ca3.8 Mg0.1 Zn0.01 ●微量要素入り亜リン酸カルシウム肥料

《ホスカルMk2の特長と効果》

- * カルシウムに拮抗のホウ素・マグネシウム・亜鉛を配合
- * 乾燥/萎れ耐性を上げる酢酸、トレハロースなどを配合
- * 分けつ、着花(着果)促進、糖度向上 (亜リン酸+カルシウム)
- * 窒素中断効果(強) (株を締め、節間伸長を抑え、根を張らせる)
- * 細胞壁中層生成 (ペクチン酸カルシウムの構成要素)
- * 高温乾燥時の石灰ホウ素複合欠乏症対策に！

●ホスカルMk2のコンセプト
ホスカルにBSを添加し、必要かつ拮抗する微量要素を最適配合



亜リン酸とは？

亜リン酸は分子量が小さい分、水によく溶け作物への吸収もよい。一方、培土への吸着率は正リン酸が22%に対し、亜リン酸は6%と非常に低く、それだけより多く作物に吸収されやすい性質を持つ。

- * リン酸固定がおきにくい(土壌)
- * 速効性がある
- * 活性酸素除去(細胞内)
- * 植物体の糖度上昇・品質向上
- * 生長調整効果・根量増加

BS (バイオスティミュラント) とは？

植物に供することで「植物の能力と農作物の価値を高める」資材の総称です。BSは作物や土壌環境などその周辺環境が本来持っている自然な力を活用して、

- ①植物の健全さ
- ②ストレスへの耐性(耐塩性・耐寒性・耐暑性・耐乾燥性など)
- ③収量と品質
- ④収穫後の状態及び貯蔵

以上に対して良好な影響を与える物質や微生物およびそれらに類する技術の総称になります。

★上手な使い方(ポイント)

- 葉面散布(500~1000倍)/灌水施用(原液200~500ml/10a 灌水時に希釈の上施用します)
- 7~10日間隔で散布します。
- 他の高機能液肥と混合散布すると効果的です(推奨:ネイチヤーエイド、鉄力あくあF14、バリカタ!、アラフェスタ)

★使用上の注意

酸性肥料のため石灰、アルカリ系資材/薬品(石灰硫黄合剤、銅剤)との混用は出来ません。また高濃度で散布する場合や高温時の使用などでは薬害に注意する必要があります。